

# 北部学校給食共同調理場及び南部学校給食共同調理場における 次期事業の入札に向けての対話（サウンディング）結果の公表について

令和3年8月31日  
(豊橋市教育部 保健給食課)

## 1. サウンディング調査の概要

豊橋市内4つの学校給食共同調理場のうち、豊橋市北部学校給食共同調理場（以下「北部調理場」）は、平成22年度からPFI事業で供用開始しており、令和6年度にその事業期間を満了します。また、豊橋市南部学校給食共同調理場（以下「南部調理場」）は、平成13年度に建て替えを行い、平成25年度から運営を民間委託しています。

豊橋市では、現在、令和7年度以降の北部調理場の運営手法を検討するとともに、併せて南部調理場の運営手法も見直すことを考えており、老朽化した調理場における施設の維持管理や、入札における競争性の確保等、様々な課題を検討するにあたり、その参考とするため、民間事業者の皆さまとの対話（サウンディング型市場調査）を実施しました。

## 2. サウンディング調査の実施スケジュール

令和3年6月16日（水）	サウンディング調査実施要領の公表
令和3年7月14日（水）～21日（水）	サウンディング調査の実施
令和3年8月31日（火）	サウンディング調査結果概要の公表

## 3. サウンディング調査の参加者

調理企業	: 7者	
維持管理企業	: 3者	
厨房機器メーカー等	: 4者	合計14者

## 4. サウンディング調査結果の概要

別紙のとおりです。

## 5. サウンディング調査結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング調査では、分野が異なる複数の企業との対話を実施することができました。今回のサウンディング調査の結果を踏まえ、今後次期事業の運営手法や入札条件の整理・検討を進めてまいります。

別 紙

項目		主な提案・意見 ※（ ）内は、大勢の意見に対しての補足意見や反対意見にあたるものを挙げた。
入札・契約	SPCの組成	<p>◆SPCを組成する必要があるが無い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SPC組成にかかる費用や維持費用を考えると組成しない方が良い。</li> <li>・SPCの組成はメリットなく、必要ない。</li> </ul> <p>◆大規模な修繕や機器更新等を予定する場合、その都度支払いが行われるような方式であれば、SPCの組成は不要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模修繕等を予定する場合、その都度支払いが行われるような方式であれば、SPCの組成は不要。</li> <li>・機器の更新に伴う支払いはその都度にして欲しい。SPCを組成する必要は無い。</li> </ul>
定常修繕	施設維持管理	<p>◆定常修繕（日常的な軽微な修繕）については、額を一定にして欲しい。</p> <p>&lt;北部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定常修繕の額は一定にして欲しい。</li> <li>・維持管理は大きく金額で差がつく業務ではないので、単に管理したり、仕様書どおりの点検をするということではなく、いかに施設を継続して使用できる状態に保つかという点を、提案で競う形が良い。（定額の場合は年度末に清算する方式かどうか。修繕で儲けようとは考えない。）</li> </ul> <p>（・保守点検を適切に行うことで、修繕費用を削減するのが維持管理企業の腕のみせどころである。）</p> <p>&lt;南部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理の側面からは北部よりリスクがあるとみて、金額の上乗せとなるかもしれない。過去の修繕費を開示するとともに、定常修繕の額は一定にして欲しい。</li> </ul>

	<p>施設維持 管理</p>	<p>◆施設や設備の大規模修繕の実施については、提案に委ねずに、要求水準書で指定してほしい。</p> <p>&lt;北部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕や更新を業務範囲に入れることは問題ない。運営しながらの工事をいつやるか。市から目安を示してほしい。</li> <li>・大規模修繕を盛り込むなら、実施年度を市側で指定せず、事業期間の中で更新時期を計画できるようにしてほしい。そのほうが企業としてのノウハウが発揮されやすい。</li> </ul>
<p>予防保全</p>	<p>厨房機器</p>	<p>◆厨房機器の更新の実施については、提案に委ねずに、要求水準書で指定してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器の更新を入札に絡めてほしい。どの機器を修繕・更新するのかを明らかにして欲しい。</li> <li>・洗浄機、フライヤー、スチームコンベクションオーブン等を更新すべき機器として指定し、時期は民間の提案に委ねるのが良いのではないか。</li> <li>・機器の更新時期を提案に委ねられるのは大変ではあるが、市から指定されてしまうと提案の余地が無くなってしまう。</li> </ul>
	<p>予防保全 等 に関する 価格変動 リスク</p>	<p>◆要求水準書において施設の大規模修繕や厨房機器の更新を指定した場合の、価格変動リスクについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価格変動が参加する上でのリスクと考えている。年数を重ねるごとにリスクが上がっていくため、どこまで協議に応じてもらえるかが問題。</li> <li>・物価が安定しており、今の状況が10年間続くなら価格変動リスクは許容できる。</li> <li>・何らかの物価指数によりサービス対価を改定すれば問題ないが、最終的には物価変動後の残額内で出来る修繕をしていくことになる。</li> <li>・リスクを緩和する方法として、何らかの物価指数によりサービス対価を改定する方法が考えられる。</li> <li>・詳細な修繕履歴、保守履歴が開示されていることが前提となる。</li> <li>・10年後となると、課題は残る。</li> </ul>

光熱水費	<p>◆次期事業においては、事業者の裁量で光熱水費を削減する余地は乏しく、光熱水費は市の負担としてほしい。(洗浄等で使用量が大きく左右される。)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市負担でお願いしたい。</li><li>・光熱水費は、削減できる余地が少ない。当然ながら異物混入の無いことを優先し、水道等を使用するため。</li><li>・水道は、献立の相違でそれほど左右されるわけではなく、洗浄機での使用が大きい。</li><li>・水道については、自分たちでコントロールできない部分での増加リスクを見込む必要がある。</li></ul> <p>(・市負担でも事業者負担でもどちらでも構わない。事業者負担となるのであれば、過去の実績量から、価格を見込むことになる。)</p>
------	---